

新型コロナウイルス: 典型的な不況というより自然災害

ニューヨーク連銀の調査によると、失業率の急上昇という米国の現在の状況は、過去にルイジアナ州で起こったハリケーン・カトリーナによる都市や田園地帯を荒廃させた状況に匹敵する。一方で、2007/2008年の不況では、失業率は急激に上昇したのではなく徐々に上昇した。このように、現在の状況は自然災害との類似性を示している。

加えて、コロナ危機はハリケーンの影響よりも顕著に長く続く可能性が高く、不況の長期化や金融市場の危機に発展する危険性がある。

しかしながら、基本的には封じ込め策や経済政策による支援が効果を発揮しているようで、今年後半からの世界経済の力強い回復の可能性は高いと思われる。

楽観的過ぎるかもしれない。ワクチンがそもそも見つかるかどうか、ワクチンが見つかるとしても来年以降になるのではないかと、非常に不確実であるからだ。ワクチン無しでコロナウイルスを制御することができれば、他の自然災害の発生後と同様の景気回復が今年後半には可能となるかもしれない。

とは申せ、観光や大規模イベントの場合は、ワクチンが使用可能となるか、いわゆる集団免疫を獲得するようになるまでは、おそらく元には戻らないであろう。もう一つの可能性として再び議論されているのが、人口をリスクグループで区分して、高リスク群だけを守るということである。

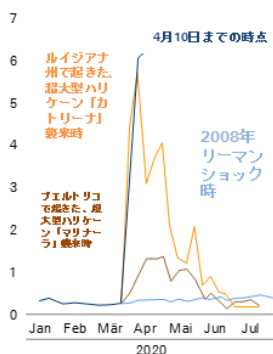
経済覇権がアジアに移る可能性がある

今週、IMF（国際通貨基金）は今年の世界経済の発展予測を発表した。IMFは、米国の実質GDPは5.9%減、中国は1.2%増、ユーロ圏は7.5%減を予測している。このIMFの予測は中国での軽度な流行の経過及びヨーロッパやアメリカでの大きな経済的損失を反映したものになっている。

このようにコロナ危機は、中期的にはアジアが世界の経済覇権を握るという流れを強める可能性がある。2020年の予想平均中国人民元/米ドル為替レートに基づく、中国の名目GDPは14.4兆米ドルに増加する可能性が高いが、米国の名目GDPは20.4兆米ドルに減少する可能性がある。このような背景から、中国が米国を追い抜くまでには、あと数年はかかるだろうが、中国経済が米国経済に追いつき追い越すというプロセスはこれまで通り変わりはない。このような背景から、投資家は自分のポートフォリオが地理的に十分に分散されているかどうか、アジア地域がポートフォリオに十分に含まれているかどうかを十分に点検せざるを得ないようになってきている。

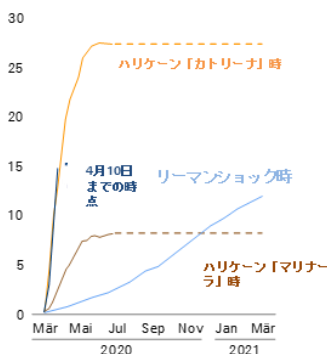
米国：週次の新規失業保険申請件数

単位：百万人



新規失業保険申請件数の累計

単位：百万人



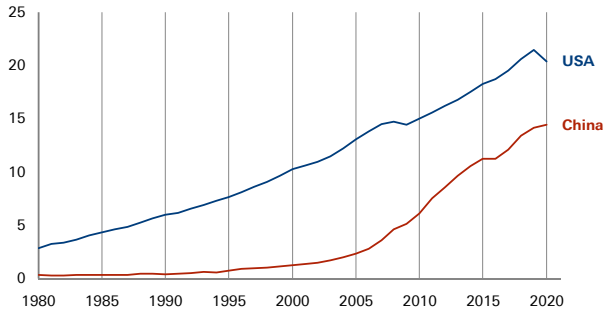
出典：FRB（連邦準備制度理事会）

さらに、広範囲にわたる封じ込め策は短期間でないと経済合理性が無いことがますます明らかになってきている。したがって、今後数週間の課題は、感染の第二波を起こすこと無しに経済活動を迅速に正常化することだ。

中国、台湾、韓国では第一波鎮圧に成功している模様だが、シンガポールは感染の第二波に見舞われた。欧米では、データの状況や知識、検査の範囲が日に日に向上しているため、ターゲットをより絞った封鎖の緩和が可能になり、早期の経済開放のチャンスがあると見ている。近い将来ワクチンが開発されることを期待するのは

中国は飛躍的に米国に追いつく可能性

GDP (単位：兆米ドル、CNY/USD 為替レートベース)



出典: Thomson Reuters Datastream, Metzler; Stand: 7.4.2020

グローバル経済：4月、5月に経済は底打ちか

4月のPMI指数は世界的に3月よりも悪化した。しかし、4月の独ZEW景気期待指数（今後6ヶ月のドイツの景況感を表す）は大きく改善しており、経済は4月/5月に底打ちすると見る。一方で、4月の独Ifo景況感の期待指数は悪化した。同指数も、独ZEW景気期待指数同様に今後6ヶ月のドイツの景況感について企業に聞き取り調査するものであるが、通常、より目先の景況感が示される傾向にある。

エドガー・ヴァルク (Edgar Walk)
メツラー・アセット・マネジメント GmbH
チーフエコノミスト

- 本資料は、投資一任契約を踏まえた上で、メツラーグループが提供する情報をメツラー・アセット・マネジメント株式会社が翻訳・作成したものです。
- 本資料は、特定の年金基金及び機関投資家向けに作成したものです。
- 本資料は、当社が金融市場に関する情報提供のために作成した資料であり法令に基づく開示資料ではありません。
- 実際の投資には、有価証券の価格変動、流動性、信用、カンントリー、為替変動等の諸リスクが発生し、損失が生じる場合があります。投資元本を割り込むこともあります。
- 手数料・費用等の投資家の負担は、個別の投資一任契約により異なりますので、その合計額や上限額をあらかじめ表示することはできません。
- 契約の際には事前に契約締結前交付書面等を必ずお読みください。
- 本資料に掲載された内容、意見、予測は今後予告なしに変更される場合があります。当社はその変更等に起因する損害について一切責任を負いません。
- 本資料は信頼できると判断される情報に基づき作成していますが、当社はこれら情報の正確性や信頼性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料で紹介している運用実績等は、過去の実績によるものであり、将来の運用成果の獲得を示唆あるいは保証するものではありません。
- 本資料の全部又は一部を、当社の事前承諾なしに複写、複製若しくは配布することを禁じます。
- 本資料に引用した各インデックス（指数）の商標、著作権、知的財産権その他一切の権利は、各算出元に帰属します。また、各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。

メツラー・アセット・マネジメント株式会社
〒100-0011
東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル23階
Tel : 03-3502-6610 (代表) Fax : 03-3502-6616
金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第467号
加入協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会

W20-001